



2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 イーソル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4420 URL <https://www.esol.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 勝敏
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 落合 藤夫 TEL 03-5365-1560
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 2022年9月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切り捨て)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	4,110	△9.6	△470	—	△397	—	△423	—
2021年12月期第2四半期	4,546	0.5	242	10.3	478	11.0	342	8.2

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 △409百万円 (—%) 2021年12月期第2四半期 370百万円 (8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	△20.79	—
2021年12月期第2四半期	16.82	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年12月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、増減率は、当該会計基準等適用前の前年同四半期の数値に基づいて算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	6,713	5,299	78.9
2021年12月期	7,284	5,777	79.3

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 5,299百万円 2021年12月期 5,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	1.50	—	4.00	5.50
2022年12月期	—	1.50	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	4.00	5.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,068	1.5	△398	—	△319	—	△399	—	△19.60

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、増減率は、当該会計基準等適用前の前期の数値に基づいて算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期2Q	21,460,800株	2021年12月期	21,460,800株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	1,076,030株	2021年12月期	1,097,262株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期2Q	20,371,045株	2021年12月期2Q	20,357,559株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの概況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和や各種政策の効果等により景気は緩やかに持ち直しているものの、ウクライナ情勢や原材料等の価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの組込みソフトウェア事業がターゲットとして注力している自動車市場では、CASE (Connected つながる車、Autonomous 自動運転、Shared & Service シェアリングサービス、Electric 電動化) と呼ばれる領域が進展しており、同市場は大きな変革期にあります。また、自動車や医療分野を中心に、安全技術への需要が高まっており、機能安全規格の認証取得が求められる傾向にあります。

このような環境の中、当社グループは自動車関連業界をメインターゲットと位置づけ、ワンストップソリューションの提供に注力するとともに、研究開発への投資を引き続き行ってまいりました。また、センシングソリューション事業がメインターゲットの1つとしている食肉市場並びに倉庫・物流業界に対しては、指定伝票発行用車載プリンタ並びにハンディターミナルの拡販を進めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,110百万円(前年同期比9.6%減)、研究開発への投資を増加したことにより、営業損失470百万円(前年同期は営業利益242百万円)、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)等からの助成金収入91百万円を計上したことにより、経常損失397百万円(前年同期は経常利益478百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失423百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益342百万円)となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(組込みソフトウェア事業)

当事業は、幅広い分野における電子機器向けの自社製ソフトウェア製品RTOS(リアルタイム・オペレーティング・システム)の開発・販売、受託開発を主に行っておりますが、主に自動車向け機器への売上が前年同期比で減少しました。その結果、売上高3,920百万円(前年同期比4.6%減)及び研究開発への投資の増加により、セグメント損失407百万円(前年同期はセグメント利益158百万円)となりました。

また、当セグメントの売上高の内訳としては、ソフトウェア製商品は832百万円(前年同期比7.0%減)、エンジニアリングサービス等は3,087百万円(同3.9%減)となりました。

(センシングソリューション事業)

当事業は、冷菓・冷凍食品市場、食肉市場及び物流市場において、車載プリンタやハンディターミナルの販売や、新たなセンサネットワーク関連ビジネスを進めましたが、主に車載プリンタの販売が前年同期比で減少しました。その結果、売上高228百万円(前年同期比42.7%減)、セグメント損失33百万円(前年同期はセグメント利益37百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,692百万円となり、前連結会計年度末に比べて606百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が214百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が447百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は1,020百万円となり、前連結会計年度末に比べて35百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が24百万円、無形固定資産が7百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、6,713百万円となり、前連結会計年度末に比べて570百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,088百万円となり、前連結会計年度末に比べて122百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が67百万円、その他の流動負債が68百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は324百万円となり、前連結会計年度末に比べて30百万円増加いたしました。これは主に持分法適用に伴う負債が30百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,413百万円となり、前連結会計年度末に比べて92百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,299百万円となり、前連結会計年度末に比べて478百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が504百万円減少したことによるものであります。

（3）キャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ214百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には3,687百万円になりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は75百万円（前年同期に獲得した資金は168百万円）となりました。これは主に売上債権の減少額447百万円等の資金増加要因、税金等調整前四半期純損失397百万円、棚卸資産の増加額89百万円、仕入債務の減少額67百万円等の資金減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は64百万円（前年同期に使用した資金は109百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出46百万円、無形固定資産の取得による支出15百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は81百万円（前年同期に使用した資金は80百万円）となりました。これは配当金の支払額81百万円によるものであります。

（4）業績予測などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績を踏まえ、業績予測の修正をしております。詳細は、本日公表の「第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,015,450	3,800,580
受取手形及び売掛金	1,638,618	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	1,190,958
有価証券	206,614	182,744
商品及び製品	129,492	142,829
仕掛品	64,449	140,874
その他	244,110	234,504
流動資産合計	6,298,737	5,692,491
固定資産		
有形固定資産	256,262	280,764
無形固定資産	154,481	162,259
投資その他の資産	574,549	577,807
固定資産合計	985,292	1,020,830
資産合計	7,284,029	6,713,322
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	514,427	446,942
未払法人税等	23,085	30,740
賞与引当金	55,820	60,369
受注損失引当金	—	560
その他	618,315	550,172
流動負債合計	1,211,650	1,088,785
固定負債		
資産除去債務	101,828	102,593
持分法適用に伴う負債	62,591	92,694
その他	130,198	129,670
固定負債合計	294,618	324,958
負債合計	1,506,268	1,413,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,041,818	1,041,818
資本剰余金	965,392	976,768
利益剰余金	3,700,431	3,195,513
自己株式	△83,646	△82,027
株主資本合計	5,623,996	5,132,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153,268	163,340
為替換算調整勘定	496	4,165
その他の包括利益累計額合計	153,764	167,505
純資産合計	5,777,761	5,299,578
負債純資産合計	7,284,029	6,713,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,546,741	4,110,686
売上原価	3,007,726	2,792,087
売上総利益	1,539,015	1,318,598
販売費及び一般管理費	1,296,071	1,789,290
営業利益又は営業損失(△)	242,944	△470,691
営業外収益		
受取利息	17	17
受取配当金	5,391	5,009
助成金収入	217,627	91,661
その他	28,439	4,424
営業外収益合計	251,475	101,111
営業外費用		
為替差損	—	3,850
有価証券運用損	—	23,691
貸借契約解約損	16,373	—
その他	0	1
営業外費用合計	16,373	27,543
経常利益又は経常損失(△)	478,046	△397,123
特別損失		
固定資産除却損	11,071	—
特別損失合計	11,071	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	466,975	△397,123
法人税、住民税及び事業税	109,228	16,805
法人税等調整額	15,287	9,535
法人税等合計	124,516	26,340
四半期純利益又は四半期純損失(△)	342,459	△423,463
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	342,459	△423,463

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	342,459	△423,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,918	10,072
為替換算調整勘定	861	3,669
その他の包括利益合計	27,779	13,741
四半期包括利益	370,238	△409,722
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	370,238	△409,722

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	466,975	△397,123
減価償却費	39,693	35,413
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,059	4,548
受注損失引当金の増減額(△は減少)	242	560
受取利息及び受取配当金	△5,409	△5,026
為替差損益(△は益)	△807	△815
有価証券評価損益(△は益)	△1,893	23,691
固定資産除却損	11,071	—
助成金収入	△217,627	△91,661
賃貸借契約解約損	16,373	—
売上債権の増減額(△は増加)	21,288	447,660
棚卸資産の増減額(△は増加)	△67,013	△89,761
仕入債務の増減額(△は減少)	109,324	△67,484
その他の資産の増減額(△は増加)	△13,833	△15,912
その他の負債の増減額(△は減少)	△244,872	△51,295
その他	1,380	764
小計	119,953	△206,442
利息及び配当金の受取額	5,408	5,026
助成金の受取額	217,627	91,661
法人税等の支払額	△174,185	△11,289
法人税等の還付額	—	45,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,803	△75,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△54,525	△46,534
無形固定資産の取得による支出	△28,889	△15,333
資産除去債務の履行による支出	△24,500	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△563
その他	△2,037	△1,858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△109,952	△64,290
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△80,967	△81,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,967	△81,109
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,361	5,968
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△19,755	△214,870
現金及び現金同等物の期首残高	4,348,131	3,902,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,328,376	3,687,657

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

ただし、従前の収益認識の方法から変更はなく、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84号ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示しておりました「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準等第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	組込みソフトウェア事業	センシングソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	4,101,255	398,618	4,499,873
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,791	—	6,791
計	4,108,047	398,618	4,506,665
セグメント利益	158,765	37,311	196,076

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	4,506,665
セグメント間取引消去	△6,791
未実現利益の調整額	46,868
四半期連結損益計算書の売上高	4,546,741

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	196,076
未実現利益の調整額	46,868
四半期連結損益計算書の営業利益	242,944

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	組込みソフトウェア事業	センシングソリューション事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	3,912,248	228,540	4,140,789
ソフトウェア製商品	832,888	—	832,888
ハードウェア製商品	—	228,540	228,540
エンジニアリングサービス	3,079,360	—	3,079,360
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,912,248	228,540	4,140,789
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,825	—	7,825
計	3,920,074	228,540	4,148,614
セグメント損失(△)	△407,278	△33,309	△440,588

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	4,148,614
セグメント間取引消去	△7,825
未実現利益の調整額	△30,103
四半期連結損益計算書の売上高	4,110,686

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△440,588
未実現利益の調整額	△30,103
四半期連結損益計算書の営業損失	△470,691